



三州病院広報誌

和

なごみ

秋・冬号
2013

第17号

<http://www.sansyu-hp.jp/>



院内の草花

CONTENTS もくじ

ピックアップ	
医療福祉(地域連携)相談室、医療機器委員会 P1、2
患者様のこえ P2
ご挨拶 P3
新人紹介 P3
一歩進んだ胃ろう(半固形流動食) P3
メンタルヘルスへの取り組み P4
世界糖尿病デー P5
わたしの趣味 P6
院内・年間行事 P6

PickUp

第17回
ピックアップ

医療福祉 (地域連携)相談室

みなさん、こんにちは。医療福祉(地域連携)相談室です。

医療福祉(地域連携)相談室は、表玄関を入るとすぐ右側にあります。精神保健福祉士という資格を持った相談員(ソーシャルワーカー)がおり、当院を利用されている全ての患者様、ご家族のご相談をお受けしています。

病気になると、医療費のこと、仕事のこと、退院後のことなど病気そのもの以外の問題や悩みが起ることがあります。困ったことを、どこの誰に聞いたらよいかわからない、どうしてよいかわからないというときは、遠慮なくご相談ください。解決できる方法を一緒に考え、問題解決のお手伝いさせていただきます。

また、相談室では、他機関(行政や施設、病院など)や地域の皆さまとの総合的な窓口の役割も担っています。当院を利用したいと考えている、医師に講演を頼みたい、当院でボランティア活動をしたいという場合も相談室が窓口となります。

病気の有無に関係なく、一人でも多くの方の『笑顔』を見られることが私たちの目標でもあり喜びです。どうぞよろしく願いいたします。

相談例

- 「精神科病院に行くのは初めてで不安です。何を持って行けばよいですか。」
- 「見学はできますか。」
- 「近所の方が認知症のような気がします。どうすればよいですか。」
- 「具合が悪いです。入院したいけどお金がありません。」
- 「退院した後の生活のことで悩んでいます。話を聞いて下さい。」

何でもお気軽にご相談ください。
お待ちしております。



相談室窓口



声をおかけ下さい



相談室内

医療機器委員会



私達の委員会では、患者様の日々の健康管理に必要な機器(体温計や血圧計等)または検査に必要となる機器(脳波形や心電図計等)の管理を行っています。不備や異常が起こらないように日々、点検・管理に努めています。また、進歩する医療の中で今後当院においてどのような機器が必要となるか等話し合いを行っています。

皆様が検査を受ける時などに私達を思い出して頂ければ幸いです。



当院では院内に意見箱を設置し患者様・御家族が気軽に意見を伝えられる病院づくりに努めています。

意見箱に入れられた意見・相談・苦情等とそれに対する各部署の対応を紹介します。

意見内容	一人の人を中心にして物事を進めるのではなく、もっと周りにも目を配って欲しい。一人の意見をすぐに優先させるのではなく、みなさんに意見を求めてからにしてほしい。(例えば、テレビの音量やクーラーの温度調節に関すること等)また、変更のある場合は一言声をかけて欲しい。(今からクーラーの温度を少し下げますね等)
回答	不快な思いをされたようで、大変申し訳ありませんでした。患者様方の体調に合わせ、声掛けしながら温度調節やテレビの切り替え等行っていくようにいたします。また何かありましたら、その都度スタッフへ声をかけてください。 (認知症病棟)
意見内容	全面禁煙をお願いできないもののでしょうか。私自身、タバコが好きで好きでたまらない者なのですが、でも、やめられるならやめたいといつも考える。この際、病院側がタバコを吸えなくして下されば諦めもつき、絶対にやめられるのでは…。先生方、職員様方、よろしく検討のほどを…。
回答	現在、喫煙されない方に対してのタバコの害を考慮し、当院では分煙を行っています。全館禁煙については、検討しているところです。どうしてもタバコをやめたいとお考えでしたら、一度主治医へ相談されてはいかがでしょうか。 (労働安全委員会)

ご挨拶



看護部 松元

この度、7月16日付で精神療養病棟の病棟師長になりました。松元と申します。精神療養病棟では当院の看護方針にもありますように、常に患者様とご家族の立場に立って考え行動し、日々明るく思いやりのある対応を心掛け、またチーム医療により早期退院を目指しております。まだまだ未熟ではありますが、患者様やご家族の力に少しでもなれるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。当病棟にお越しの際はお気軽に声をお掛け下さい。



看護部 富岡

7月より女子病棟の主任をさせていただいています。富岡と申します。女子病棟に異動して4年目に入ります。これからスタッフと協力して、話やすく笑顔の絶えない明るい病棟づくりを心掛けていきたいと思っておりますので、よろしく願い致します。



事務部 今村

少しでも元気を与えられるように、笑顔で明るく頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4月から働かせていただいています、受付の今村です。少しずつ慣れてきましたが、まだまだ慣れないことばかりで、毎日が勉強の日々です。患者様に



受付

新人(社会人1年生)紹介



診療支援部 秦

はじめまして。4月に入職いたしました、男子病棟の精神保健福祉士の秦と申します。よろしくお願いいたします。新人でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何よりも、皆様と共有できる一瞬一瞬を大切にしたいと考えています。些細なことでも構いません。どうぞ気軽にお声かけ下さい。皆様が今の想いを誰かに伝えたいとき、その相手として思い出して頂けると幸いです。次の一歩へのお手伝いをさせて頂けるときをお待ちしております。

一歩進んだ胃ろう (半固形流動食)

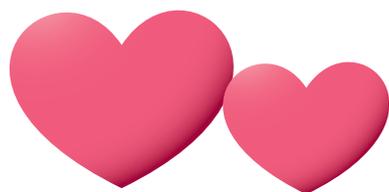
病気や障害などが理由で口から食事や水分を摂れない方への栄養摂取方法として、鼻からチューブを入れ流動食(液体)を流す方法(鼻腔栄養)や、胃に直接穴を開け流動食を流す方法(胃ろう)の2種類があります。

従来、胃ろう栄養の主体は液体流動食でしたが、最近、半固形流動食の有用性が報告されるようになってきました。半固形流動食とはマヨネーズ程の固さになっている流動食です。利点も多く当院でも導入していますので紹介します。

利点

- 注入時間が液体と比べて短く、本人及び介護者の時間的負担が軽減できる。
- 誤嚥性肺炎の発症を減少させる可能性がある。
- 下痢、軟便の減少、便の正常の改善が期待できる。
- 液体流動食より生理的であり、胃の蠕動(ぜんどう)運動が誘発される。
- QOL(生活の質)、ADL(日常生活動作)の向上に寄与できる。…等があげられます。

当院では管理栄養士が食事に必要な栄養やカロリーを患者様一人一人に合わせて計算し、それに合った食事形態や内容を提供しています。流動食を提供している患者様へもその方へ合わせたカロリーで提供しています。



メンタルヘルスへの取り組み

こんにちは！鹿児島メンタルヘルス研究所ハート♥ピースです。

私たちハート♥ピースは、特定医療法人共助会(三州病院、三州脇田丘病院)の精神科医師、精神保健福祉士、心理士で構成された研究所です。鹿児島県内の企業・事業所の従業員の皆様が、心身ともに健康で、いきいきと働くことが出来るよう、メンタルヘルスに関連する様々なサポートを行っています。

昨今、職場において心の病を抱える方が増加していると言われていいます。職場でメンタル不調者が発生すると、その従業員本人の問題だけでなく、周囲の従業員間の不協和音や、組織全体の生産性の低下を招くと言われ、結果として、企業の弱体化にも繋がりがねません。

そのため、ハート♥ピースは従業員の皆様が心の病になる前の『予防』から関わり、実際にメンタル不調者が発生した場合も迅速に専門的なサポートを行います。



電話相談の様子

具体的なサービスとしては、

- ♥ 「電話相談」…気軽に日頃お困りのことや愚痴からお聞きします。
- ♥ 「カウンセリング(来所・電話)」…個別にじっくりお話を伺い問題解決を目指します。
- ♥ 「ストレスチェック」…簡単な質問に答えて自分の心身の状態がわかります。
- ♥ 「組織分析」…企業・部署の健康度の傾向がわかります。
- ♥ 「コンサルテーション」…メンタル不調者への対処法を専門知識をもって提案します。
- ♥ 「講演・研修」…コミュニケーションやうつ病などメンタルヘルスについてお話しします。
- ♥ 「緊急支援」…事業所内での突然の事件・事故における従業員の心のケアを致します。
- ♥ 「レター配信」…メンタルヘルスに関する情報を定期的に配信します。

などがあり、各企業・事業所のニーズに合わせたサービスを提案・提供しています。

「うちの従業員はメンタル大丈夫なのかな?」「休職者が出た! どうしよう…」「メンタルヘルス対策、何から始めたらいいのかわからない」「メンタルヘルスの研修をしてほしい!」などで、メンタルヘルス対策にお困りの企業・事業所の皆様のお力になりたいと考えています。



講演会



相談室内

お問い合わせ

鹿児島メンタルヘルス研究所

ハート・ピース

〒890-0046

鹿児島市西田3丁目14-1中央駅西口ビル3・4F

TEL 099-208-3456 FAX 099-208-3065

開所日：月・水・土（祝日休み）

開所時間：10:30～19:00

世界糖尿病デー

みなさんは11月14日が世界糖尿病デーに指定されていることをご存じでしょうか？2006年に国連総会議で「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」が可決され、それにより国際糖尿病連合(International Diabetes Federation:IDF)と世界保健機関(World Health Organization:WHO)が指定し、全世界での糖尿病抑制にむけたキャンペーンを推進することになりました。シンボルマークは国連や空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」を使用しています。なぜ11月14日になったかという、インスリンという糖代謝に必要なホルモンを発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞したカナダ人医師フレデリック・バンティングの誕生日に由来します。2007年から世界30ヶ国で一斉に実施され国内では東京タワーをはじめ、京都の清水寺、鎌倉の大仏、九州では熊本城、県内でも鹿児島中央駅アミュプラザの観覧車がブルーにライトアップされ、各地域で糖尿病を広く一般に知ってもらうためのさまざまなイベントが催されています。

糖尿病が歴史上、初めて確認されたのは今から約3500年前の紀元前1500年にエジプトで「多尿を出す病気」という記述が最初という説があります。日本では藤原道長の晩年の健康状態を記した記録が糖尿病の病態と酷似しており、糖尿病の日本での最古の記録に相当するのではないかとされています。そんなにも昔から知られていて多くの国の医師たちが治療法を模索し続けた、この「不思議な病気」は1920年のフレデリック・バンティングによるインスリン発見によって歴史を大きく変えたのです。

現在、世界人口の3%、成人に限れば5~6%の人が糖尿病で、今後さらに増加すると予測されています。日本では世界平均の2倍、全体の6%の人が糖尿病で、40歳以上の人の実に3人に1人が糖尿病か、その予備軍であるとの発表もあります。糖尿病がいかに怖い病気か、われわれ医師はよく知っています。高い血糖値を放っておくと血管が硬くなり特に細い血管が障害を受け、いわゆる糖尿病の三大合併症と言われる「糖尿病性網膜症」・「糖尿病性神経障害」・「糖尿病性腎症」を引き起こします。と、ここまでは一般の方でも最近をよく知っていらっしゃると思います。でも、なかなかイメージが湧かない…ですよね。もうすこし噛み砕いて言うと、水道管や下水道・ホースの中に余計なヘドロやごみがこびりついて徐々に水の勢いがなくなり気がついたら水が出てこない状態で、そうするとトイレも流れず汚物が溜まったり、お風呂も入れず、草木は枯れ、ホースはガチガチに硬くなりついには亀裂が入って水漏れを起こす…。というようなことが体の中で起こってしまうのです。そうならないように、血糖値をしっかりコントロール(お薬の内服治療や食事療法、運動療法など)して水道管の中をきれいに保つのが治療です。

11月14日にブルーにライトアップされた街を見ることがあれば、ご自身の健康を見直すいい機会になるかもしれませんね。

医師：日笠山 智彦

☆わたしの趣味☆

私の趣味は、ソフトテニスです。私がソフトテニスを始めるきっかけになったのは、中学の部活動見学の際に見た先輩のプレーでした。その先輩は県でも1・2位を争う凄い選手で、そこまで体格が良いわけではなかったのですが、小柄な体格からは考えられないような強烈な打球を打っていて、自分もあんなふうになりたいと強く思い、ソフトテニスを始めようと思いました。その後は、中学から高校までの6年間プレーし、高校では主将を務め、たくさんの思い出を作ることが出来ました。ソフトテニスをしていて良かったと思うところは、鍛えられた面もたくさんありますが、やはり一番は、たくさんの仲間ができたことです。中学でも高校でもたくさんの仲間を作ることができ、今でもソフトテニスが続いていることで様々な人との交流を深めています。たくさんの人と知り合えた、これがソフトテニスをしていて私の一番の財産になっていると思います。最後に、現在「三州テニス部」という形で、認知症病棟の職員を中心に月に1・2回ほど、大峯公園のテニスコート借りて、テニスをしています。テニス経験者の方や、初心者の方でも、体を動かしたいという方でも大歓迎ですので参加してみたい方がいらしたら声をかけてください。以上、私の趣味でした。

認知症病棟 看護助手 内村



院内行事 楽しい行事がいっぱい!

平成25年度実施行事

4月 お花見(院外レクリエーション) 6月 のど自慢大会

7月 七夕 8月 そうめん流し(院外レクリエーション)

Pick Up

9月 敬老会

今年も多くの患者様の敬老の日をお祝いすることができました。敬老会ではボランティアの方々による踊りや手品などで楽しませていただき、患者様も大変喜ばれていました。

今年96歳の患者様が最高齢でした。皆様の笑顔にこちらでも元気を頂きます。これからも元気で長生きされまじうように。



ボランティアによるおどり

10月 ゲーム大会

病棟対抗でのゲーム大会、ロッキーのテーマ曲が流れると…聖火ランナーが登場!選手宣誓の挨拶で開幕しました。今年は段ボールキャタピラリレー、缶倒しボウリング、玉入れで競い、お元気な方も車イスの方も楽しめる内容で、職員も一緒になって盛り上がり「楽しかったよ!」の声が聞かれました。勝敗は男子病棟が逆転勝利となり、トロフィーを勝ち取りました!



飾り付けも雰囲気盛り上げました

一年を通して、楽しい行事がいっぱい!

11月 演芸会 12月 クリスマス会 1月 正月ゲーム大会

- 毎月、誕生会も開催しています。様々な行事にボランティア大歓迎!
- 他にも各病棟、デイケアでも様々なレクリエーションを企画しています。



理念 基本行動指針

患者様を博愛の精神で受け入れ、
分け隔てなく、寛容の心で接します。

1. 患者様の人権に配慮し、
最善の医療とより高き入院生活環境を
提供します。
2. 精神科リハビリを促進し
早期退院に努め、
多くの方が地域で生活できるように努力し、
その家族を含めて支援します。
3. 常に医療について研鑽を怠らず、
医療人としての誇りと働き甲斐を持てる
環境の創造に努めます。
4. 関係機関と連携し、医療を通じて
地域への貢献に努め、地域と共に歩む
病院作りを目指します。

患者様の権利について

患者様が安心して、
より良い医療を受けられるように、
患者様の権利を尊重します。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 医師から十分な説明を受け、治療を受ける権利
3. 通信・面会の権利
4. 公平で差別をされない医療を受ける権利
5. 処遇等の不服を申し立てる権利
6. 医療上及び個人の秘密を守られる権利

編集後記

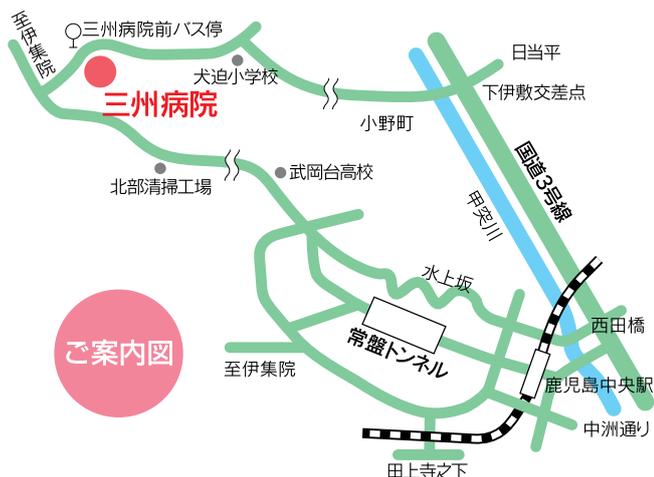
今年の夏は例年になく暑い夏でした。しかし自然とは不思議なものです。夏が終わり色とりどりの季節がやってきました。月日の流れを感じます。さて、わが家の1歳9ヶ月の孫は、日々成長し本当に愛しく宝物です。

ホームページアドレス <http://www.sansyu-hp.jp/>
☆ホームページでも広報誌がご覧いただけます。
(広報担当 内苑)

交通のご案内 鹿児島交通バス



山形屋バスセンターから犬迫経由伊集院線にご乗車いただき、
三州病院前バス停でご降車下さい。



日本医療機能評価機構
認定病院



特定医療法人 共助会

三州病院

〒891-1205

鹿児島市犬迫町7783番地1

TEL/**099(238)0075**

FAX/**099(238)0079**

診療科目 精神科・内科

<http://www.sansyu-hp.jp/>

診療時間 午前 9:00～12:00 (受付8:30～11:00) 午後 13:30～17:00 (受付13:30～16:00)

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日

施設概要 病床数 213床
病棟 精神病棟 99床
精神療養病棟 60床
認知症治療病棟 54床

業務内容 ●精神療法 ●精神科作業療法
●精神科デイケア・テイナーケア
シヨートケア ●精神科訪問看護 他